

興国寺城 二の丸虎口への土橋の発掘調査Ⅲ (28年12月11日 水野茂)

昨年度から進めていた三の丸から二の丸をつなぐ土橋調査であるが、最末期にあたる天野氏期の盛土の土橋から西側の堀の中に石列が見つかった(盛土側に石面・東向き)。今回は、その対となる西側に石積みを確認され(西向き)、数回の改修が分かった。

さらに、三の丸大手付近の外堀に落ち込む急斜面と、地山が大きく盛り上がった土塁跡が確認できた。

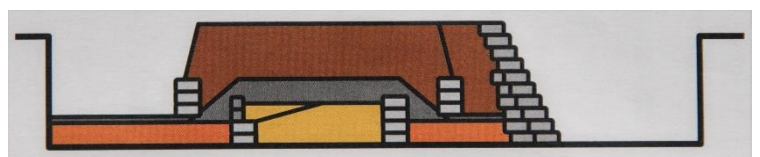


3条入れたトレンチの一番南側

右側が空堀の肩にあたるラインと石列



昨年度の東側石積み(奥側)、今年度の西側石積み(手前)とともに二列確認され、堀底から積み上げられ複雑な改修痕を見せる。



二の丸土橋構造モデル(平成28年度興国寺城発掘調査現地説明会資料参考)